

# 北海道大学大学院文学研究科概要

Graduate School of Letters  
and  
Faculty of Letters  
Hokkaido University

2017



---

北海道大学大学院文学研究科・文学部

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

電話（直通） 011-726-7728

F A X 011-706-4803

Eメール [wwwadmin@let.hokudai.ac.jp](mailto:wwwadmin@let.hokudai.ac.jp)

ホームページ <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

---

# 目次

---

1	沿革	2～5
2	歴代学部長・研究科長	6
3	組織運営	7
4	講座の主な研究分野	8～9
5	職員数	10
	1 職員数	
	2 職員配置	
6	学生数	11～12
	1 学部学生	
	2 大学院学生	
	3 研究生・聴講生・科目等履修生・特別研究学生・特別聴講学生	
	4 外国人留学生	
7	図書	13
	1 蔵書冊数及び雑誌種類	
	2 年間受入数	
8	土地及び建物面積	13

# 1. 沿革

---

- 昭和22年4月 法文学部が設置され、哲学科7講座（哲学概論・哲学史、西洋哲学史(1)、西洋哲学史(2)、倫理学・倫理学史、心理学・教育学(1)、社会学・宗教学、社会学・宗教学）、史学科2講座（国史学、東洋史学）、文学科3講座（文学及西洋文学(1)、国文学(1)、東洋文学）、法律学科5講座（憲法学、行政法学、民法学(1)、民法学(2)、社会法学）、政治学科1講座（政治学・政治史）、経済学科2講座（社会政策、経済学）の計20講座が置かれた。
- 昭和22年10月 北海道帝国大学は北海道大学と改称された。
- 昭和23年9月 法文学部の哲学科に1講座（東洋哲学史(1)）、史学科に2講座（国史学(2)、西洋史学）、法律学科に5講座、経済学科に2講座が増設された。
- 昭和24年6月 法文学部の哲学科に2講座（東洋哲学史(2)、心理学・教育学(2)）、史学科に1講座（史学）、文学科に2講座（西洋文学(2)、西洋文学(3)）、法律学科に2講座、経済学科に1講座が増設された。
- 昭和25年4月 法文学部が文学部と法経学部に分離される。文学部には、哲学科10講座（西哲第一、中哲、印哲、西哲第二、西哲第三、倫理、心理第一、心理第二、社会、宗教）、史学科に5講座（史学概論、日本史第一、日本史第二、東洋史、西洋史）、文学科に5講座（英米、国文、中文、独文、露文）の計20講座が置かれた。
- 昭和28年4月 文学研究科が設置された。
- 昭和28年5月 文学研究科に哲学専攻（博士課程・修士課程）、東洋哲学専攻（博士課程・修士課程）、心理学専攻（博士課程・修士課程）、社会学専攻（修士課程）、史学専攻（博士課程・修士課程）、英米文学専攻（博士課程・修士課程）及び国文学専攻（博士課程・修士課程）の合計7専攻が置かれた。
- 昭和30年8月 文学研究科に社会学専攻（博士課程）、国史学専攻（博士課程・修士課程）、東洋史学専攻（博士課程・修士課程）及び西洋史学専攻（博士課程・修士課程）が置かれた。
- 昭和30年8月 文学研究科に置かれていた史学専攻（博士課程・修士課程）が廃止された。
- 昭和32年3月 文学科に言語学講座が増設された。
- 昭和37年3月 史学科に史学1講座が増設された。
- 昭和40年4月 文学科に国語学講座が設置された。
- 昭和40年6月 大学院文学研究科に独文学専攻（修士課程）及び中国文学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和41年4月 附属北方文化研究施設が設置され、考古学部門が置かれた。

- 昭和41年 9月 附属北方文化研究施設二風谷分室として、イギリスから旧マンロー邸（土地19,371㎡、建物304㎡）の寄贈を受けた。
- 昭和42年 1月 大学院文学研究科に独文学専攻（博士課程）及び中国文学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和42年 4月 文学科イギリス文学講座を英米文学講座に、ドイツ文学講座を独文学講座に、ロシア文学講座をロシア文学講座にそれぞれ名称変更された。
- 昭和42年11月 教室・研究棟4,694㎡の新築工事が落成した。
- 昭和43年 6月 文学科に英語学講座が増設された。
- 昭和44年 3月 大学院文学研究科に言語学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和44年 3月 研究棟350㎡の増築工事及び管理棟616㎡の新築工事が落成した。
- 昭和44年 5月 文学科に独語学講座が増設された。
- 昭和46年 6月 大学院文学研究科に言語学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和48年 3月 実験動物舎83㎡の新築工事が落成した。
- 昭和48年 4月 附属北方文化研究施設に文化人類学部門が増設された。
- 昭和49年12月 附属北方文化研究施設分室建築用地として、斜里町郷土研究会から土地661㎡が寄贈された。
- 昭和51年 3月 附属北方文化研究施設斜里分室126㎡の新築工事が落成した。
- 昭和52年 3月 実験動物舎67㎡の増築工事が落成した。
- 昭和52年 4月 哲学科の実験心理学第1講座、実験心理学第2講座及び社会学講座が廃止されて行動科学科が設置され、認知情報学講座、比較行動学講座及び社会行動学講座が新設された。
- 昭和53年 4月 行動科学科に動態社会学講座及び数理行動学講座が増設された。
- 昭和53年11月 研究棟（E棟）1,321㎡及び研究棟351㎡の増築工事が落成した。
- 昭和54年 3月 行動科学科に社会生態学講座が増設された。
- 昭和55年 4月 行動科学科に社会心理学講座が増設された。
- 昭和56年 4月 共通講座として基礎文化論講座が設置された。

- 昭和57年 4月 大学院文学研究科心理学専攻及び社会学専攻を改組し、行動科学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和59年 4月 大学院文学研究科に行動科学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和61年 4月 共通講座として総合文化論講座が設置された。
- 昭和63年 4月 共通講座として人間行動学講座が設置された。
- 昭和63年11月 研究棟783㎡の増築工事が落成した。  
実験動物舎の移転に伴い、渡り廊下12㎡の減及び渡り廊下36㎡の増となった。
- 平成 4年 4月 文学科にロシア語文化論講座が新設された。
- 平成 5年 4月 文学科に中国語文化論講座が新設された。
- 平成 6年 2月 研究棟図書資料室118㎡の増築工事が落成した。
- 平成 6年11月 第3年次編入学試験を試行的に実施した。
- 平成 7年 4月 従来の哲学科、史学科、文学科及び行動学科の4学科を改組し、人文科学科の1学科に統合するとともに、既存の全講座と附属北方文化研究施設を哲学、倫理学、文化価値論、日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、言語情報学、日本文化論、中国文化論、西洋言語学、西洋文学、心理システム科学、行動システム科学、社会システム科学及び地域システム科学の17大講座に改編された。
- 平成 7年 4月 大学の一般教育を含む学部教育を充実させるため、「学部一貫教育」体制へ移行された。これに伴い、入学者選抜方法も、従来の「系・課程」別の募集形態から「学部」別に変更された。
- 平成12年 4月 大学院重点化が認められ、大学院文学研究科は、思想文化学専攻（哲学講座、倫理学講座、文化価値論講座）、歴史地域文化学専攻（日本史学講座、東洋史学講座、西洋史学講座、歴史文化論講座、日本文化論講座、中国文化論講座、北方文化論講座、スラブ社会文化論講座（協力講座））、言語文学専攻（西洋言語学講座、西洋文学講座、言語情報学講座）及び人間システム科学専攻（心理システム科学講座、行動システム科学講座、社会システム科学講座、地域システム科学講座）の4専攻17講座1協力講座による大学院講座制に移行した。
- 平成15年 1月 人文・社会科学総合教育研究棟の新築工事が落成した（工事引渡日）。
- 平成16年 4月 大学院文学研究科「思想文化学専攻」の「文化価値論講座」の名称を「宗教学インド哲学講座」に変更し、「芸術学講座」が新設された。
- 平成17年 4月 大学院文学研究科「歴史地域文化学専攻」の「日本文化論講座」「中国文化論講座」が「言語文学専攻」へ移行し、「言語文学専攻」に「映像・表現文化論講座」が新設された。

平成19年 2月 大学院文学研究科に「応用倫理研究教育センター」が設置された。

平成19年 4月 大学院文学研究科に「北方研究教育センター」が設置された。

平成20年 3月 研究棟の耐震補強及び改修工事が落成した。

平成27年 1月 研究棟（E棟）の耐震補強及び改修工事が落成した。

## 2. 歴代学部長・研究科長

---

### 法文学部長

昭和22. 6. 9～25. 3. 31 伊 藤 吉之助

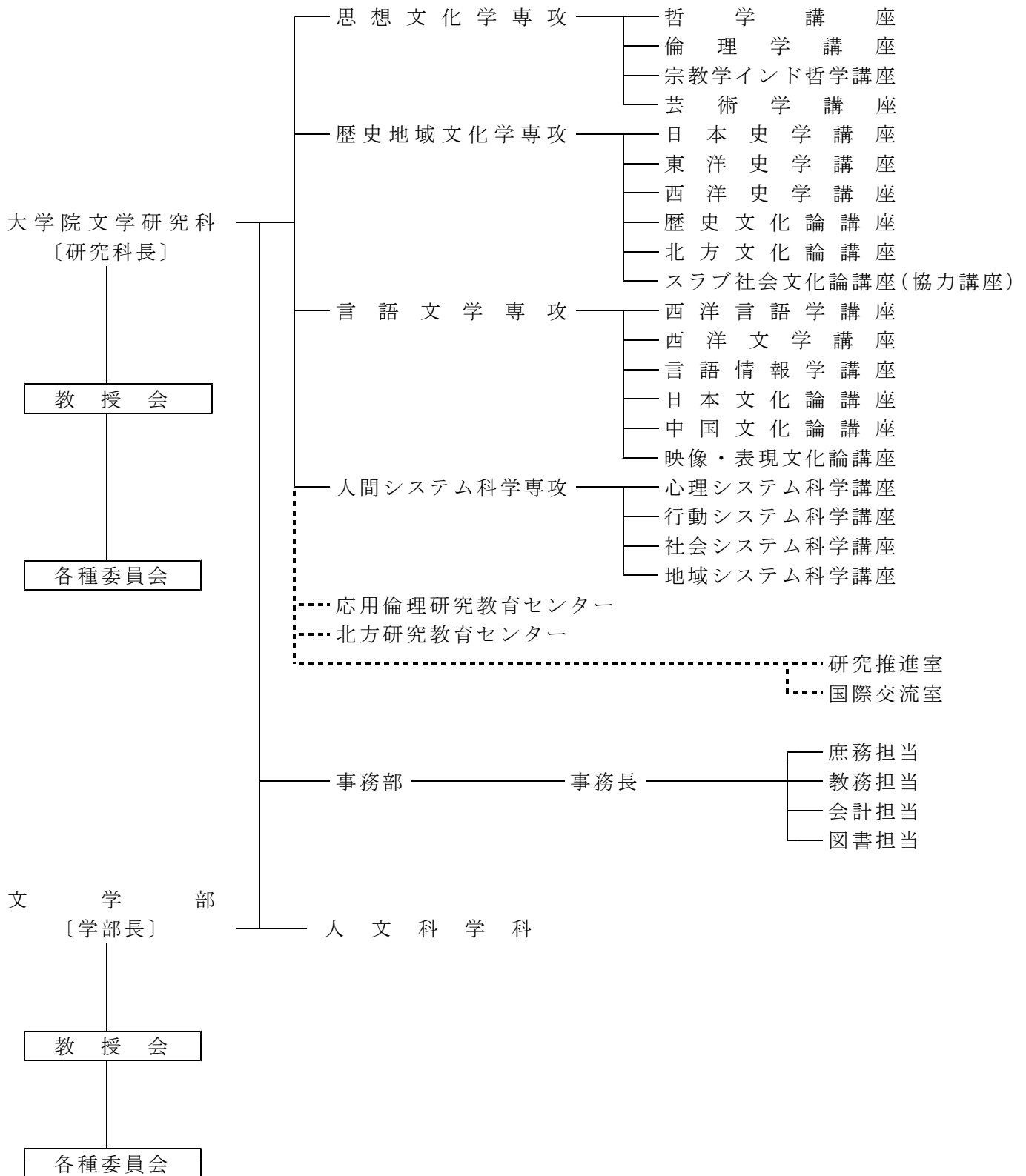
### 文学部長

昭和25. 4. 1～26. 7. 30 伊 藤 吉之助  
 26. 7. 31～29. 7. 31 武 田 信 一  
 29. 8. 1～32. 1. 31 柏 倉 俊 三  
 32. 2. 1～33. 5. 31 武 田 信 一  
 33. 6. 1～35. 5. 31 中 川 秀 恭  
 35. 6. 1～38. 5. 21 須 田 豊 太郎  
 38. 5. 22～38. 12. 19 杉野目 晴 貞 (事務取扱)  
 38. 12. 20～39. 12. 18 金 子 武 蔵  
 39. 12. 19～42. 12. 18 阿 部 武 彦  
 42. 12. 19～44. 12. 18 野 田 壽 雄  
 44. 12. 19～46. 7. 31 小 栗 浩 (事務取扱)  
 46. 8. 1～48. 3. 31 鳥 山 成 人 (事務取扱)  
 48. 4. 1～49. 3. 31 梅 岡 義 貴 (事務取扱)  
 49. 4. 1～50. 3. 31 梅 岡 義 貴  
 50. 4. 1～53. 3. 31 塩 谷 饒 夫  
 53. 4. 1～55. 3. 31 永 井 秀 夫  
 55. 4. 1～57. 3. 31 花 田 圭 介  
 57. 4. 1～59. 3. 31 藤 田 宏 達  
 59. 4. 1～61. 3. 31 宇都宮 芳 明  
 61. 4. 1～63. 3. 31 田 中 彰 彰  
 63. 4. 1～平2. 3. 31 高 島 正 稔  
 平成 2. 4. 1～ 4. 3. 31 大 島 正 二  
 4. 4. 1～ 6. 3. 31 青 柳 謙 二  
 6. 4. 1～ 8. 3. 31 今 西 順 吉  
 8. 4. 1～10. 3. 31 灰 谷 慶 三  
 10. 4. 1～12. 3. 31 北 原 敦

### 文学研究科長

平成12. 4. 1～14. 3. 31 瀧 川 哲 夫  
 14. 4. 1～16. 3. 31 身 崎 壽  
 16. 4. 1～18. 3. 31 新 田 孝 彦  
 18. 4. 1～20. 3. 31 栗生澤 猛 夫  
 20. 4. 1～22. 3. 31 望 月 恒 子  
 22. 4. 1～26. 3. 31 弐 和 順  
 26. 4. 1～28. 3. 31 白木沢 旭 児  
 28. 4. 1～ 山 本 文 彦

### 3. 組織運営





## 4. 講座の主な研究分野

講座名	研究分野
哲学講座	○ギリシャ哲学、英米分析哲学、神学 ○言語哲学、心の哲学、行為の哲学、認識論 ○論理学、論理の哲学 ○現代分析哲学
倫理学講座	○現代倫理学（規範倫理学、メタ倫理学） ○西洋近代倫理学 ○応用倫理学（科学技術倫理、生命倫理、環境倫理など） ○近現代ドイツ哲学 ○近現代フランス哲学 ○古代ギリシア・ローマ倫理学 ○現象学 ○社会思想史 ○近代日本哲学 ○神経哲学
宗教学インド哲学講座	○宗教学、死生学、ドイツ宗教思想史 ○宗教史学、キリスト教学、新約学 ○古代インド思想、原始仏教、ウパニシャッド ○仏教学、仏教史学
芸術学講座	○美学・芸術学（含む芸術諸学） ○日本美術史 ○西洋美術史 ○現代芸術論 ○美的文化論
日本史学講座	○日本古代史 ○日本中世史 ○日本近世史 ○日本近代史 ○日本現代史
東洋史学講座	○中国戦国秦漢史 ○中国近現代史 ○東アジア史 ○西アジア史 ○イスラーム社会史
西洋史学講座	○古代ローマ史 ○ドイツ中世・近世史 ○近代イギリス史 ○近代フランス史
歴史文化論講座	○文化人類学、社会人類学 ○アメリカ史・アメリカ研究 ○中東社会史、イスラーム・キリスト教関係史 ○日本近代思想史、韓国近代史
北方文化論講座	○民族言語学、北方諸言語 ○先史考古学、日本考古学、東北アジア考古学 ○考古学、物質文化論研究 ○文化人類学、博物館学
スラブ社会文化論講座 （協力講座）	○ロシア帝国史、ソ連史、シベリア極東史 ○ロシア文学・文化 ○ロシア・旧ソ連諸国政治 ○ロシア・旧ソ連諸国経済 ○日ロ関係、ユーラシア国際関係 ○中央アジア・コーカサス近現代史 ○旧ソ連諸民族・諸宗教研究 ○東欧政治・国際関係 ○東欧社会経済史 ○スラブ語学、バルカン言語学
西洋言語学講座	○ゲルマン語類型論、ドイツ語学、北欧語学、 オランダ語・フリジア語学 ○英語学と認知言語学－認知意味論・認知文法・機能主義 ○フランス語学、ロマンス語学、生成文法 ○ロシア語学 ○ドイツ語教授法、異文化コミュニケーション

講 座 名	研 究 分 野
西 洋 文 学 講 座	○西洋古典文献学 ○古代キリスト教の歴史と文学 ○ドイツ文学・文化論 ○フランス文学・思想 ○ロシア文学 ○アメリカ文学 ○英米英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ論 ○イギリス文学、シェイクスピア劇、物語理論
言 語 情 報 学 講 座	○日本語科学、言語学 ○国語学、国語史、漢文訓読 ○アイヌ語、北方言語 ○統語論、語用論、言語理論 ○韓国語、音声学、音韻論
日 本 文 化 論 講 座	○上代文学 ○中古文学 ○中世文学 ○近世文学 ○日本文化史
中 国 文 化 論 講 座	○中国思想 ○日本漢学 ○中国美術 ○中国語学 ○中国文学 ○中国文化史
映 像 ・ 表 現 文 化 論 講 座	○映像論、表現文化論、映画学、日本映画論、海外映画論 ○日本文学（近代・現代）、日本文化（近代・現代）、 日本思想（近代・現代）
心 理 シ ス テ ム 科 学 講 座	< 専門領域 > ○認知心理学、基礎心理学、実験心理学、認知科学、認知神経科学 < 各テーマ例 > ○感覚、知覚、イメージ、記憶、学習、注意、運動、言語、思考、意思決定、音楽、発達、感情、コミュニケーションなどの諸心理過程
行 動 シ ス テ ム 科 学 講 座	< 専門領域 > ○社会心理学、進化心理学、文化心理学、環境心理学、計量行動学、 神経行動経済学、比較認知科学 < 各テーマ例 > ○マイクロ・マクロ理論、社会的交換、集団力学、意思決定、環境行動、 社会的ジレンマ、比較文化、公正、ゲーム理論、感情、異種間コミュニケーション、 協力行動
社 会 シ ス テ ム 科 学 講 座	○宗教・文化社会学、東アジア宗教文化論、タイ地域研究 ○経済社会学、労働社会学 ○国際社会学、政治社会学 ○教育社会学、社会調査法 ○計量社会学、ソーシャル・キャピタル論 ○家族社会学 ○リスク社会学、ウェルビーイング
地 域 シ ス テ ム 科 学 講 座	○地域社会学・環境社会学・開発社会学 ○人文地理学・都市地理学・経済地理学・交通地理学・農業地理学 ○保全生態学・野生動物管理学・動物生態学・ヒトと動物の関係論・ 環境教育 ○南北アメリカ・東南アジア・オセアニア・シベリア・極東地域研究 ○GIS研究

## 5. 職 員 数

### 1 職 員 数

(平成29年4月1日現在)

教 授	准教授	講 師	助 教	事務職員	U R A	合 計
50(4)	36(1)	0	8	19	3	116(5)

※ ( ) 内は特任教員・内数

### 2 職 員 配 置

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	事務職員	U R A	合 計
哲 学 講 座	2(1)	1		1			4(1)
倫 理 学 講 座	1	3					4
宗教学インド哲学講座	2	2					4
芸 術 学 講 座	2	2					4
日 本 史 学 講 座	1	4		1			6
東 洋 史 学 講 座	1	1					2
西 洋 史 学 講 座	3	1					4
歴 史 文 化 論 講 座	5						5
北 方 文 化 論 講 座	2	1					3
西 洋 言 語 学 講 座	4(1)			1			5(1)
西 洋 文 学 講 座	4(1)	3(1)		1			8(2)
言 語 情 報 学 講 座	3	1					4
日 本 文 化 論 講 座	2	2					4
中 国 文 化 論 講 座	4(1)						4(1)
映像・表現文化論講座	3	2					5
心理システム科学講座	4	2		1			7
行動システム科学講座	1	5		1			7
社会システム科学講座	3	2					5
地域システム科学講座	3	2		1			6
応用倫理研究教育センター		1					1
北方研究教育センター				1			1
国 際 交 流 室		1					1
研 究 推 進 室						3	3
事 務 部					19		19
合 計	50(4)	36(1)		8	19	3	116(5)

※正規職員及び特任教員のみ計上

※ ( ) 内は特任教員・内数

## 6. 学 生 数

### 1 学部学生

(平成29年5月19日現在)

学 科 名	入学	所属	現 員				合 計
			1年次	2年次	3年次	4年次	
人文科学科	185	—					
		哲 学・文化学コース		12 (3)	15 (5)	12 (4)	39 (12)
		歴史学・人類学コース		46 (18)	46 (15)	44 (13)	136 (46)
		言 語・文 学 コー ス		33 (19)	18 (13)	54 (24)	105 (56)
		人間システム科学コース		55 (25)	81 (39)	80 (37)	216 (101)
		日 本 文 化 論 コー ス		12 (6)	14 (4)	23 (14)	49 (24)
		アジア・アラブ文化論コース		3 (3)	5 (1)	1 (1)	9 (5)
		ヨーロッパ・アメリカ文化論コース		14 (6)	13 (8)	10 (6)	37 (20)
		北方文化論コース		1	1		2
合 計	185			186 (85)	194 (85)	239 (107)	619 (277)

☆入学定員は当該年度の1年次入学定員

( )内は女子の内数

### 2 大学院学生

(平成29年5月19日現在)

専 攻 名	修 士 課 程				博 士 後 期 課 程				備 考	
	入学 定員	現 員			入学 定員	現 員				
		1年次	2年次	合 計		1年次	2年次	3年次		合 計
思想文化学	14	8 (5)	23 (3)	31 (8)	6	5 (2)	3 (2)	5 (3)	13 (7)	
歴史地域文化学	28	22 (10)	26 (12)	48 (22)	11	8 (2)	10 (7)	20 (12)	38 (21)	
言 語 文 学	29	25 (15)	41 (26)	66 (41)	11	7 (2)	14 (6)	57 (33)	78 (41)	
人間システム科学	19	27 (16)	27 (14)	54 (30)	7	7 (2)	7 (2)	24 (11)	38 (15)	
合 計	90	82 (46)	117 (55)	199 (101)	35	27 (8)	34 (17)	106 (59)	167 (84)	

☆入学定員は当該年度の1年次入学定員

☆( )内は女子の内数

3 研究生・聴講生・科目等履修生・特別研究学生・特別聴講学生

(平成29年5月19日現在)

区 分	学 部	大学院	合 計
研 究 生	33 (30)	10 (7)	43 (37)
聴 講 生	11 (5)	5 (2)	16 (7)
科目等履修生	6 (5)		6 (5)
特別研究学生		7 (7)	7 (7)
特別聴講学生	70 (51)	5 (5)	75 (56)
合 計	120 (91)	27 (21)	147 (112)

☆ ( )内は女子の内数

4 外国人留学生

(平成29年5月1日現在)

国 名	学部学生	大学院学生		研究生	特別研究学生	特別聴講学生	合 計
		修士課程	博士後期課程				
アゼルバイジャン			1				1
アメリカ合衆国			1	1 (1)		9 (5)	11 (6)
英 国						4 (2)	4 (2)
イ タ リ ア			1				1
インドネシア			2 (1)	1 (1)		1 (1)	4 (3)
オーストラリア						1	1
オ ラ ン ダ						1 (1)	1 (1)
カザフスタン			1 (1)				1 (1)
キ ル ギ ス			1				1
シンガポール						1 (1)	1 (1)
ス ペ イ ン	1						1
スロバキア				1			1
タ イ						1	1
ド イ ツ						4 (4)	4 (4)
パキスタン			1				1
ハンガリー	1					1 (1)	2 (1)
バングラデシュ			2				2
フィリピン				1 (1)		2 (2)	3 (3)
フィンランド						6 (3)	6 (3)
フ ラ ン ス			1				1
ベトナム						1 (1)	1 (1)
ベルギー						2 (1)	2 (1)
ポーランド						1 (1)	1 (1)
モンゴル				1 (1)			1 (1)
ラトビア	1 (1)						1 (1)
ロ シ ア	1			1 (1)		1 (1)	3 (2)
韓 国	2 (1)	5 (1)	1 (1)			11 (8)	19 (11)
台 湾	2 (1)	3 (1)	4 (4)			4 (3)	13 (9)
中 国	59 (43)	39 (27)	27 (23)	6 (6)	24 (21)		155 (120)
合 計	67 (46)	58 (31)	38 (33)	6 (6)	75 (56)		244 (172)

☆ ( )内は女子の内数

## 7. 図 書

### 1 蔵書冊数及び雑誌種類

(平成29年3月31日現在)

蔵 書 (冊)			雑 誌 (種類)		
和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
162,732	124,081	286,813	3,331	1,762	5,093

### 2 年間受入数

(平成28年度)

蔵 書 (冊)			雑 誌 (種類)		
和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
3,655	1,072	4,727	857	267	1,124

## 8. 土地及び建物面積

(平成28年4月1日現在)

区 分	土 地	建 物 (※)	備 考
文学研究科・文学部	7,933m <sup>2</sup>	11,866m <sup>2</sup>	
二風谷研究室	15,087m <sup>2</sup>	270m <sup>2</sup>	
斜里研究室	661m <sup>2</sup>	126m <sup>2</sup>	
合 計	23,681m <sup>2</sup>	12,295m <sup>2</sup>	

※延べ面積数